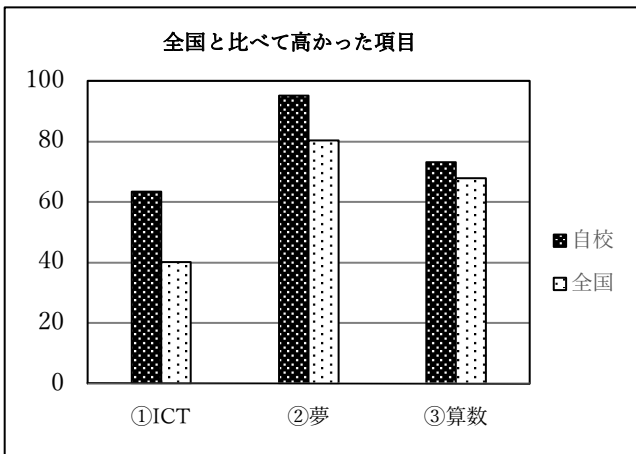


令和3年5月実施

6・9年 全国学力・学習状況調査結果及び分析、今後の取組について

◆6年 質問紙調査（生活や学習に関する調査）から 【全国の割合と比べて数値が高かった項目】

	調査の項目
①	授業でコンピュータなどのICT機器を週1回以上使用する
②	将来の夢や目標を持っている
③	算数の勉強が好き



さらなる向上に向けた取組

【ICT】

- ・GIGA スクール構想を受け、Chromebook の活用をさらに進めていく。

【夢】

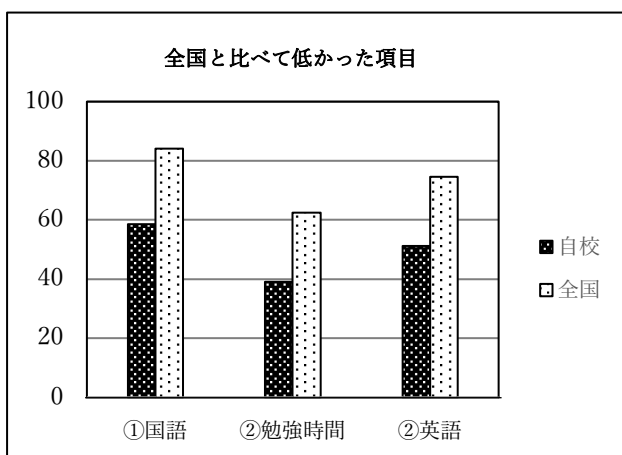
- ・キャリア教育を推進し、夢や目標を持って生きていくことの意義をしっかりと指導していく。

【算数】

- ・「分かって楽しい算数科授業」を今後も展開していき、児童の算数力をさらに高めていく。

【全国の割合と比べて数値が低かった項目】

	調査の項目
①	国語の授業がよく分かる
②	学校の授業以外に、普段(月～金)、1日当たり1時間以上勉強する
②	英語の授業で、自分自身の考えや気持ちを英語で伝えることができる



改善に向けた取組

【国語】《語彙の不足が授業理解に影響している》

- ・読書時間の質と量の拡充
- ・キーワードを使っての短文作りや言葉集めなどのスキル学習

【勉強時間】《30分以上1時間未満が多く2時間以上が少ない》

- ・宿題の質と量を見直し、1時間は必要な宿題にする。
- ・読書を宿題に組み入れ、読書量と学習時間をUP。
- ・毎日、家庭学習をチェックする。

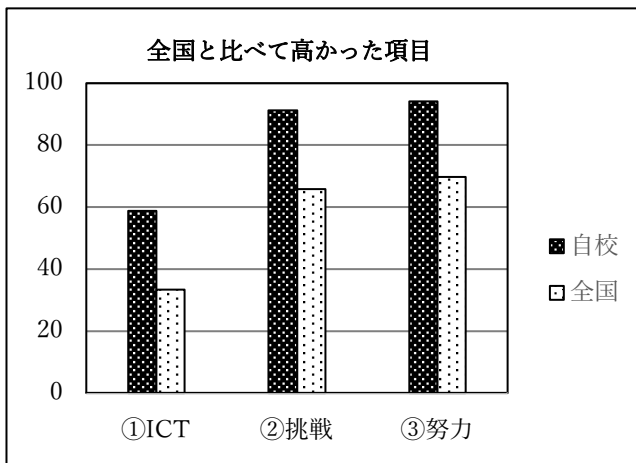
【英語】《伝え方が身に付いていない》

- ・語彙を増やす。
- ・定型文(I can～. I like～.)を使って話す機会を増やす。

◆9年 質問紙調査（生活や学習に関する調査）から

【全国の割合と比べて数値が高かった項目】

	調査の項目
①	授業でコンピュータなどのICT機器を週1回以上使用する
②	難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している
③	学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる



さらなる向上に向けた取組

【ICT】

前時の復習や調べ学習で使用しているタブレットを、話し合い活動や意見の集約に積極的に使用する。また、過去問題や単元問題などをタブレットに入れておき、いつでも利用できるようにする。

【挑戦】

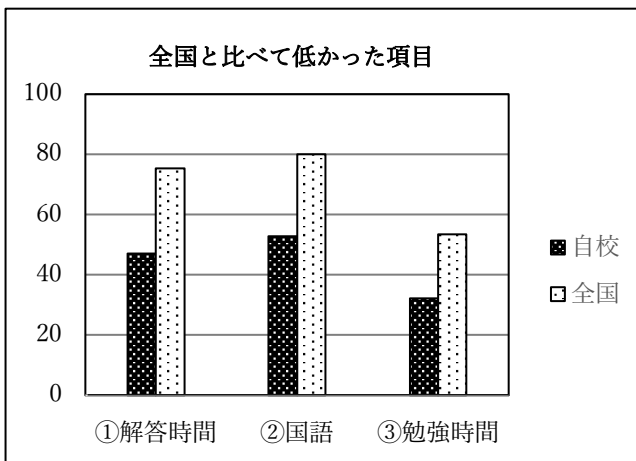
生徒活動や特別活動などで、新しい取組や難しい取組に挑戦できる場の設定を行う。

【努力】

生徒が取り組んでいることへの評価をし、それを伝えることで、生徒のモチベーションを上げる。

【全国の割合と比べて数値が低かった項目】

	調査の項目
①	国語の解答時間は足りた
②	国語の授業がよく分かる
③	学校が休みの日に、1日当たり2時間以上勉強する



改善に向けた取組

【解答時間】

授業での小テストや家庭学習で時間内に解答する取組を行う。

【国語】

毎時間、めあてに対するふり返りを必ず行い、授業内容が分からない生徒が多かった場合は、次時に復習をしたり、同じような課題を家庭学習で取り組ませたりする。

【勉強時間】

学校便りや学年便りで、家庭学習への啓発を今以上に行い、学習計画表を保護者にきちんと確認してもらうなど、可視化できる取組を行う。

◆6年 国語科

<p>全体の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6年国語科の正答率は、全国平均をやや下回った。 ・全国と比べて、数値が高かった内容は「言葉の特徴や使い方に関する事項」であった。 ・全国と比べて、数値が特に低かった内容は「書くこと」であった。
--

観点	誤答傾向から見える 本校6年国語科の課題	改善に向けた具体的な取組
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○条件に合わせて自分の考えを書くことができていない。 <ul style="list-style-type: none"> ・すべての条件を満たす解答ができていない。 ・問題の意味が理解できていない。 ○文章の構成を読み取ることができていない。 <ul style="list-style-type: none"> ・書かれている内容が理解できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「条件に合わせて書く問題」に取り組みさせる。 ○「新聞のコラム欄」等を視写させる。
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ○品詞の意味を分かっていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「ことばのプリント」等を使って、品詞の復習をする。

◆6年 算数科

<p>全体の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6年算数科の正答率は、全国平均を大きく下回った。 ・全国と比べて、数値が高かった領域はなかった。 ・全国と比べて、数値が特に低かった領域は「数と計算」であった。
--

観点	誤答傾向から見える 本校6年算数科の課題	改善に向けた具体的な取組
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○題意を捉えることができていない。 ○条件に合った必要な情報を選ぶことができていない。 ○説明ができていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○宿題の出し方を工夫する。(週末に「読み解き問題」を1問出すなど) ○書いて説明する場を、授業の中で設定し、説明の仕方に慣れさせる。 ○問題提示の仕方を工夫する。(情報過多、情報不足、順序を変えるなど)
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ○学習内容の意味理解が不十分。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習内容がどのくらい理解できたかを、「ふり返し」に書かせる。

◆9年 国語科

全体の概要

- ・9年国語科の正答率は、全国平均を大きく下回った。
- ・全国と比べて、数値が高かった領域等は「書くこと」であった。
- ・全国と比べて、数値が特に低かった領域等は「読むこと」であった。

観点	誤答傾向から見える 本校9年国語科の課題	改善に向けた具体的な取組
読む能力	<ul style="list-style-type: none"> ○文中の言葉の意味が理解できていない。 ○条件の意図を理解していないことが多く、条件に合わせて記述することが苦手。 	<ul style="list-style-type: none"> ○言葉の意味を理解できているか確認しながら授業を進める。 ○抽象的な指示ではなく、できるだけ具体的にかみくだいた言葉で指示をする。 ○書く活動の際に条件を指示し、書く練習をする。
言語についての知識・理解・技能	<ul style="list-style-type: none"> ○語彙力が足りず、理解の度合いも浅い。 ○既習事項の定着ができていない。(復習の時間が足りていない。) 	<ul style="list-style-type: none"> ○意味調べの時間を授業中に設けるなど言葉の理解を深める時間を増やす。 ○帯単元の授業で言葉の知識を取り上げる。 ○小テストや確認テストで知識の定着を図る。

◆9年 数学科

全体の概要

- ・9年数学科の正答率は、全国平均を大きく下回った。
- ・全国と比べて、数値が高かった領域はなかった。
- ・全国と比べて、数値が特に低かった領域は「図形」であった。

観点	誤答傾向から見える 本校9年数学科の課題	改善に向けた具体的な取組
数学的な見方や考え方	<ul style="list-style-type: none"> ○ワースト3はすべて「説明する問題」で、正解者は数学の力が特に高い生徒のみであった。 ○長い文章の問題を読み取ることが苦手。長い文章は初めから読まないという生徒もいる。 ○自分の考えを言葉で表現する(説明する)ことに慣れていない。 ○このような問題を授業で頻繁に取り扱う時間はない。入試に出題されないので、多くの時間を割くことがない。 ○中学1年の学年末に学習する内容で忘れてしている。(復習できていない。) 	<ul style="list-style-type: none"> ○「資料の活用」を中学2年の最初の定期テストの範囲に入れる。 ○单元ごとに1、2問程度、自分の言葉で説明する問題に取り組んで慣れさせる。